

今年を飛躍の年に

時代のニーズを捉え

イノベーション創造にチャレ

舟橋 正剛

2024年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は格別のご愛顧を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年、ウクライナ侵攻が長期化するなかで、イスラエルとパレスチナの武装組織ハマスが衝突し、地政学的リスクが高まるともに、ガソリン価格の高騰が続き日本の経済に大きな影響を及ぼしました。

国内経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が影響を及ぼしています。原材料価格や物流費の高騰を受け、食品やサービス、電気・ガスなど幅広い分野で値上げの動きが広がりました。

しかし、国内消費が活性化の中で、一昨年から続く急激なインフレが生活者の日々の暮らしに大きな影響を及ぼしています。原材料価格や物流費の高騰を受け、食品やサービス、電気・ガスなど幅広い分野で値上げの動きが広がりました。

物流問題が課題に

商品価値を伝える営業力

青山 英生

明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年末にはイスラエル・パレスチナ紛争が勃発し、ロシアのウクライナ侵攻に



も終息が見えず、世界の分断化は一層進みました。また、気候変動問題など国際的な枠組みで解決を目指すべき課題についても実質的な進展は少なく、世界経済も不安定な状況が続きました。

国内では、景気は緩やかに回復するとの見通しはありますが、人手不足は深刻さを増しています。その中で、DX推進や生成AI活用による生産性の向上という潮流は加速しています。

一方で、昨年はSDGs、循環型社会、ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョンについて、企業による情報発信が増加したことに加え、社会的意識の変化も進み、社会的な共通理解がより浸透したことを実感いたしました。

さて、今年、物流2024年問題に対する取り組みが、卸業にとっても大きな経営課題になると認識しています。今回の動き方改革関連法は、直接的にはト

一通り値上げがされましたので、いったん落ち着きはじめはありますが、中東情勢の悪化による原油価格の高止まりや円安が進むようであれば、さらなる値上げ要因になりかねません。

さて、私たちの生活では、SNSの普及により企業とユーザーの双方のコミュニケーションが取れるようになってきています。

しかし、そのような状況のなか、一方的に企業が情報発信を行うストリーミングでは、ユーザーの心を掴むことが難しくなっています。

これからは、企業とユーザーの双方が主人公となり、メッセージを発信できるナラティブ（物語的なブランド）に共感してもらうことが重要になります。

従来は作り手や売り手側のストーリーで商品を販売していましたが、これからは、

ユーザーの物語を想像することで、そこにどんなベネフィットを付加できるのかという点を訴えていかなければなりません。

新たな捺印価値創造

時代にマッチした製品提供

山本 忠利

2024年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。旧年中は、格別のご愛顧を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症の法的な位置付けが5類感染症に引き下げられ、コロナ禍という言葉が過去の物となつたように社会は賑わいを取り戻しました。

インバウンド景気も復活し、景況感も向上していると感じられます。他方でロシアによるウクライナ問題が収束しないどころかイスラエルによるガザ地区への侵攻により不安定な世界情勢は続いています。

これらの影響によるエネルギー価格の高騰、円高、物価上昇が日本経済の先行きも不透明にしています。

さらに国内労働人口の減少やトラックドライバーの働き方改革による輸送コスト上昇も目の前に横たわっています。

これらに対するために、日本企業は業務プロセスの値は相対的に高まると思われ、文房具はデジタルから離れる時間を豊かにする」と考えるなら、更に高付加価値・高価格帯商品に対する潜在ニーズは高いはず、卸業として商品価値をきちんと伝える営業力の向上に努めて参ります。

ねることで成長することができました。これからも時代のニーズを捉えながらお客さまや社会が抱えている課題を解決できるイノベーションの創造にチャレンジしてまいります。

しなくてはなりません。今年1年、お客さま、社会企業、そして働く社員も幸せにするために何ができるのか、あらためて自分自身に問い続けたいと思っております。

最後に皆様ますますのご健勝とご多幸を祈念し、

改善やコスト削減に取り組み、DX（デジタルトランスフォーメーション）に舵を切っています。

昨年、AI（人工知能）が話題となりましたが、それらAI（人工知能）技術を活用したシステムが今後企業に取り入れられていくでしょう。

結果、環境を配慮した社会のペーパーレス化はますます進むと予想されます。

文具、印章の市場もこれらの影響から逃れられないでしょう。慣習として続いていただけの書類や形骸化した捺印行為は、ペーパーレスの流れで見直されていきます。

ただし、本質的に必要とされる帳票や捺印はこれからも残っていくはずで、昨秋のインボイス制度施行によるゴム印特需はまさにその証と言えましょう。

年頭のご挨拶とさせていただきます。【シヤチハタ株

式会社社長、中部文具工業協同組合理事長】

二つを捉え、社会課題から変化する人の心を表現できる、時代にマッチした製品を提供して参る所存です。

例えば昨年は、縁起をかついだり、幸せへの願いを込めて使われてきた絵柄を題材に取り入れた「縁起はんこ」は、アクリスタンド台座をお洒落にデザインして飾るという新たな価値を持たせた「アクリス

タンド「erie」などを発売し、海外やインバウンド需要等にも好評を頂いております。

昨年はリアルイベントへも積極的に参加しました。文房具女子博だけでなく、弊社プライベートフェアにおいて、ユーザー様と対面でコミュニケーションをとることは弊社にとっても重要

です。直接お話をしながら「コミュニケーション」を深めることが、製品の使用体験を深めることにつながります。

このように、今後も弊社は文具・印章業界の皆様の声に耳を傾けながら、共に新たな捺印価値の創造に努めて参ります。

謹賀新年

大阪紙製品工業会

〒542-0061 大阪市中央区安堂寺町2-4-14 文健会館3階 ☎06(6768)2851・FAX06(6768)2852

正会員

株式会社イムラ

コクヨ株式会社

コーキ封筒株式会社

株式会社ササガワ

セキセイ株式会社

ダイゴ株式会社

トミー株式会社

日本ノート株式会社

株式会社羽車

フジックス株式会社

特別会員

王子製紙株式会社

オザックス株式会社

国際紙パルプ商事株式会社

新生紙パルプ商事株式会社

株式会社竹尾

日本製紙株式会社

日本紙パルプ商事株式会社

日本紙通商株式会社

平和紙業株式会社

北越紙販売株式会社

リンテック株式会社

レンゴー株式会社

(50音順)